

各セクションの報告・情報

ぱれっとホーム

THE・現場

にゆうきよしゃ ちいき
入居者はもちろん、地域の
あんしんあんぜん エーイーディーどうにゆう
安心安全のために。AED導入。

ぱれっとホームでは、関係者に不慮の事態(心肺停止等)が発生した際に迅速かつ効果的な救急措置を行なうことを目的として、新たにAED(自動体外除細動器)を設置いたしました。(えびすとしぶやに1台ずつ)

●「AED」とは？



実際に導入した、オムロン社のAED

※片手で持ち運べて軽量です。

AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。また、心臓の動き(心電図)を自動解析し、電気ショックが必要な方にのみ電気ショックを流す仕組みになっています。2021年中に一般市民の方がAEDを使用した事例は、1,096件となっています。

● AED講習会

操作方法については、職員対象の

講習会を行ないました。製造メーカーである、オムロン株式会社から救急のスペシャリストの方に講師としてお越しいただきまし不慮の事態での救急救命についての話をたくさんお聞きしました。今回、成人の胸部圧迫の方法と、救急車が到着するまでの人命救助行動がテーマでした。私自身、以前の職場で、少し前までお話ししていた方が意識がなくなってしまい、呼吸もしていないという状況に直面したことがあります。目の前で起きている光景に頭が真っ白になり、平常心を取り戻すまでしばらく時間がかかったことを今でも鮮明に覚えています。緊急の場合は事前の知識と心構えがとても大切であると改めて教えて頂きました。



※図のよう
に、電極パッド
を指示された
箇所に貼り、
電気ショック
を安全に確
保しながら
使用します。

● 1分ごとに救命率が7~10%下がる

心室細動や心室頻拍が発生すると、5分経過時点で半数の人が亡くなってしまいます。行政の救急サービスだけでなく、その場にいる人(バイスタンダー)が率先して救急救命活動を行なう必要があります。心肺蘇生の手順に従い、正しいタイミングでAEDを使用していきます。

(やまなか)

たまり場ぱれっと

12月19日たまり場開放日
「クリスマス会☆彡」

12月開放日、地域交流センター恵比寿にてクリスマス会を行いました。松ぼっくりツリー作りでは、みんなが松ぼっくりをどのように装飾するか想像力を膨らませ自分だけのツリーを作りました。音楽を楽しむ時間では、自由選択でダンスグループ、楽器グループに分かれ『ハピネス』などの曲を奏で、みんなでジングルベルを歌いクリスマスを堪能しました。各々が予算500円以内でプレゼントを持ち寄ったプレゼント交換では、「ビンゴ」になった人から1個獲得していく形式でした。なかなか「ビンゴ」にならず、リーチが3～4列できてからが多くとても盛り上がりました。来年たまり場でやりたいことも発表し、〇〇にお出かけ、□□を作りたいなど全部やりたくなりました。このようにとても盛り上がり2023年最後の開放日も無事に終わることが出来ました。ありがとうございました。
(たまり場ボランティア 開発智也 (かいくん))

おかし屋ぱれっと

～他の職場でも
活躍されています！～

11月から、田代和裕さんは渋谷区役所の「ハチ公そば」で毎週水曜日と金曜日の9時から11時まで超短時間雇用を始めました。「蕎麦の生地づくりをしています。材料を計ったりするのはおかし屋ぱれっとでもやっているのも無理なくできています。これからも頑張りたい。」と語っています。福富かれんさんも同じく11月から、渋谷区役所で会計年度任用職員（プレワーカー）として毎週火曜日と木曜日、10時から16時まで働いています。「大変だけど楽しい。シュレッダーの仕事以外にも色々な経験ができて嬉しい。これからも色々な仕事に挑戦してみたい。」と話しています。2人ともおかし屋ぱれっととは別の場所で今までの経験を生かしながら活躍されています。(まつもと)

ぱれっとインターナショナル・ジャパン (PIJ)

～招聘プログラム実施～

年明け早々の1月8日から一週間、ネパールのPCBR (Patan Community-Based Rehabilitation) から、事業責任者のルーニバ氏を日本に招き、おかし屋ぱれっとの作業体験を始め、職員・通所員・親の会メンバーとの意見交換、他の事業所の見学など、盛りだくさんの招聘プログラムを実施します。PCBRではすでに昨年、クッキーを製造する作業所を立ち上げ、障がいのある人たちの就労支援が始まっていますが、商品開発や品質管理、マーケティングなど多くの課題があり、今回の来日で様々なヒントを得られることを大いに期待しているようです。実施にあたりご協力頂く皆様に御礼申し上げます。次号ぱれっとつうしんにて、詳細を報告します。お楽しみに。(そうま)